

## 平成 23 年度事業概況報告

特別養護老人ホームゆめの里和田も開設以来 10 年目を迎え、より快適な住環境整備のため、5 月末から 10 月まで大規模な改修工事を実施しました。また、松本市立松風園もスプリンクラー設置、老朽化部分の改修等で 1 年間にわたり改修工事を実施しました。ご入所者の皆様には部屋の移動、騒音、活動の制限等大変な 1 年となりました。

職員の能力開発と人材の育成・確保を図るための新人事制度は、23 年 4 月からプリセプターシップ制度をスタートさせました。また、「人事制度検討委員会」を中心に職務基準の設定、昇進、昇格制度の設計、給与体系の設定を検討し、全職員に徹底しました。

本年度も県の各種補助事業による雇用と職員研修に積極的に取り組みました。職員研修では、中信地区高齢者福祉施設との合同研修会、うつくしの里を含めた内部 3 施設が連携し、職員が自ら計画立案した研修会を開催しました。多くの職員が参加するとともに、他施設との交流、職種別の交流も深まりました。

特別養護老人ホームゆめの里和田では、年末に肺炎等で入院治療者が増加しましたが、退所者については大幅に減少しました。その結果、一日平均入所者数は 76.8 人で計画対比 0.8 人増（前年対比 1.7 人増）となりました。短期入所は空床利用を含めて 6.2 人で計画対比 0.2 人増（前年対比 0.8 人減）となり、長期・短期合わせた一日平均利用者数は計画対比 1.0 人増の 83.0 人となりました。

ゆめの里和田デイサービスセンターでは、ショート利用者の増加、施設等へのご入所者が増加したため、一日平均利用者数は計画対比 0.7 人減（前年対比 1.4 人減）の 22.3 人となりました。

ゆめの里訪問看護ステーションでは、医療依存度の高い利用者が増えています。

新村宅幼老所は一日平均利用者数が計画対比 0.6 人増（前年対比 0.2 人増）の 9.2 人となり、高い利用率となりました。

特別養護老人ホームゆめの里朝日では、入院治療者が減少し、平均入所者数は計画対比 0.2 人増（前年対比 0.7 人増）の 27.2 人で、短期入所は計画対比 0.2 人増（前年同数）の 3.2 人となり、長期・短期合わせた一日平均利用者数は計画対比 0.4 人増（前年対比 0.7 人増）の 30.4 人となりました。

ゆめの里朝日宅老所は 5 月からナイトケアを開始し、定員も 14 名にしました。その結果、延べ利用者数が前年比 1,595 人の増加で、一日平均利用者数は計画対比 3.6 人増（前年対比 4.8 人増）の 9.7 人となりました。

ゆめの里福祉相談センターについては、訪問介護は新規が 20 件ほどありましたが、訪問回数 17,231 回で計画比 95.7%にとどまりました。また、居宅介護支援は延利用者数 2,386 人で計画対比 34 人増（前年対比 15 人減）となりました。

松本市立松風園は施設改修工事により活動が制限される中、入居者の要介護化もすすみ、一日平均 90.6 人（前年対比 2.2 人減）の入居者数となりました。